

栗原市誕生20周年記念誌



【市の花・ニッコウキスゲ】



【市の木・ヤマボウシ】

- 発行日 令和8年1月1日
- 発行 栗原市
- 住所 宮城県栗原市築館薬師一丁目7番1号
- 電話 0228-22-1122 (代表)
- ウェブサイト <https://www.kuriharacity.jp/>

目次

- 20周年の幕開け ————— 2
- 栗原市を形作る ————— 3
- 栗原市のまちづくり ————— 4
- 10年の歩み ————— 14
- 20年の歩み ————— 16
- データで見る栗原市 ————— 36
- 行政・議会の歩み ————— 38
- 栄誉の楯・
輝く日本一 くりはら大賞 ——— 40

栗原市誕生20周年を記念する 「キャッチフレーズ」

「つながる ひろがる ずっと栗原」

作者：菅原 優花さん(築館小学校6年(令和6年度現在))

【作品の説明】

子どもからお年寄りまで安心して、笑顔で暮らす栗原市が、これからもずっと続きますようにという思いと、日本一の住みたい田舎に輝くまちなので、たくさんの方が集まり、賑わい、さらに住み良いまちになればいいという気持ちで考えました。

栗原市誕生20周年を記念する 「シンボルマーク」



作者：山本 泰士さん(デザイナー)

【作品の説明】

栗原市誕生20周年記念キャッチフレーズ「つながる ひろがる ずっと栗原」をリボンに見立てて、それにからむ「ねじりほんによ」をイメージしたデザインとなっています。

「神の絨毯」と称される絶景。 栗駒山の秋。



市長挨拶



栗原市長 佐藤 智

栗原市は、平成17年4月1日に、10カ町村という全国でも稀な広域合併により誕生し、今年度で20周年を迎えました。この節目を市民の皆さまとともに祝うことができますことに深い喜びを感じております。

この20年を振り返りますと、「平成20年岩手・宮城内陸地震」と平成23年の「東日本大震災」の発生、令和2年からの新型コロナウイルス感染症拡大など大きな困難がありながらも、市民や市議会、国や宮城県等、関係機関の皆さまの御指導、御協力のもと、よりよい市民生活のための様々な施策を進めることができました。心より感謝しているところであります。

これから先の10年後を考えると、私たちを取り巻く環境は大きく変化しており、急激な人口減少と少子高齢化、激甚化する自然災害への対応に加え、農業、商工業の働き手不足などの新たな課題も見えてきているところであります。これらの課題に立ち向かい、栗原市を更によりよく発展させることを願い、栗原市誕生20周年を記念するキャッチフレーズを「つながる ひろがる ずっと栗原」と決めました。ここには、これまでの歩みを振り返りながら、市民がこれまで以上につながり、未来に向かって広がっていく、そのような思いが込められております。これまでの歩みを止めることなく、未来につなぐ市政づくりに一層精進したいと考えております。

結びに、明日を担う子どもたちに、「豊かな美しい くりはら」を引き継ぎ、「市民が創る くらしたい栗原」を実現すべく、市民の皆さまとともに歩みを続けてまいりますので、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。発行の御挨拶といたします。



デザインは、栗原市の頭文字、ひらがなの「くり」をモチーフにしたもので、シンプルにバランスよく、活力のある親しみやすい形で表現しています。緑色は、自然たっぷりの田園都市をイメージし、中央の形は、栗原の象徴「栗駒山」と、米どころの作物「お米」を合わせて表現しています。



市章

平成17年9月15日制定

栗原市を形作る

栗原市民憲章

この憲章は、栗原市民が生活していくうえでの規範や、精神的な指標となるものです。

平成19年9月1日制定

このまちに生きこのまちを愛し

このまちを誇りとする私たちは

輝かしい未来を信じ知恵と力を集め

夢と活力のあるまちをつくりまします

眼 光を見つめ

足 大地を踏んまえ

手 明日をぎゅうちり押さえ

腹ん中熱つつぐ熱つつぐ

額こびに広がる宇宙

天駘ける駒にまたがり

われらいま風を切つて走る

20th Anniversary KURIHARA スタート宣言！

令和7年4月1日、栗原市が誕生して20周年を迎えたことを記念して、“20th Anniversary KURIHARA”スタート宣言を市役所前で行いました。セレモニーでは、佐藤市長が誕生20周年イヤーのスタートを宣言した後、くす玉を割り、20周年の幕開けを祝いました。また、アトラクションとして築館城生野神楽クラブの皆さんによる「鶏舞」が披露され、セレモニーを盛り上げました。



20th Anniversary KURIHARA スタート宣言！ 栗原市誕生20周年記念式典

市民歌「栗原の詩」

平成21年12月13日制定

1 黄金色した稲穂のように
真つ赤なりんごの実のように
心あるがまま
我れあるがまま
心の大地 栗原よ
時には涙する日もあるだろう
だけれどそれは
いつか見つける幸せの
道の途中の花であれ
願いのすべては故郷の空に
ありがとう
栗原の詩
栗原の詩

作詞…かの香織
作曲…渡部勝彦
編曲…吉川和夫

2 栗駒山に今生まれ来る
樹木や清水のささやきに
耳を澄まそう
いのちの大地 栗原よ
飛びたつ白鳥の冬蓮の夏
希望が宿る
いつだって たがいに泣いて
四季のなかたがいに笑う
記憶のすべては故郷の山に
ありがとう
栗原の詩
栗原の詩

3 千年の夢今も流れる
奥州街道やまぼうし
まばゆい光
奇跡の大地 栗原よ
太陽に凜と向かえばこだまする
未来の音が
ささやかに たがいを照らし
遠くから たがいを守る
思いのすべては故郷の愛に
ありがとう
栗原の詩
栗原の詩

栗原の詩

栗原市の花

平成20年9月1日制定



ニッコウキスゲ

栗原市の木

平成20年9月1日制定



ヤマボウシ

マスコットキャラクター

平成26年3月21日デビュー



栗原市誕生20周年記念式典

令和7年4月5日、「栗原市誕生20周年記念式典」を栗原文化会館で開催しました。式典では、まちづくりに功績のあった12団体と個人3人に20周年記念表彰を行うとともに、合併後20年を振り返る記念映像を公開しました。また、市合唱連盟が市民歌などを高らかに歌い、式典に花を添えました。

栗原市の美しい自然を守り、自然との共生と景観保全を念頭に置いた社会資本整備を進めてきました。田園都市としての魅力を高め、都市部からの移住・定住を促進するとともに、市民の誰もが充実した生活を送れるよう生涯にわたる学習機会の提供や、優れた文化・芸術に触れる機会を提供するなど、生活の質の向上にも取り組んでいます。また、近年多発する自然災害から市民の生命と財産を守るため、災害に強いまちづくりを進め、自主防災組織への支援や消防体制の充実を図り、地域全体の防災力向上を目指しています。

2 豊かな心と文化を育み、生涯を通じて学べるまちづくりを目指します

●公民館整備事業

市民が「いつでも どこでも だれでも」学べる生涯学習の拠点として、安心して利用できる公民館を整備しています。



新築した志波姫公民館

●歴史・文化の継承支援伝統芸能活動支援事業

伝統芸能活動の伝承育成及び普及啓発事業を支援し、地域に根ざした伝統芸能を守るための補助金を交付しています。



くりはら神楽まつり



1 美しい景観を守り、豊かな自然と共生した多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します

●地域交通対策事業

安全で快適な移動サービスの提供と地域交通の利便性の向上のため、タクシー利用助成を行っています。



令和6年4月から導入したタクシー利用助成事業

●移住定住支援事業

東京・仙台でのくりはらオフィスの開設や、移住定住コンシェルジュ等と連携した移住相談、移住定住支援員の設置、移住後のサポートを行っています。



東北移住&つながり大相談会(写真左)
住みたい田舎ベストランキング第1位の盾(写真右)

3 安全・安心なまちづくりを推進します

●総合防災訓練

平成20年岩手・宮城内陸地震や東日本大震災などの災害の経験と記憶を後世に伝え、関係機関や市民が自然災害についての認識を深めるとともに、災害に対する備え、災害の未然防止と被害の軽減に資するため防災訓練を行っています。



栗原市総合防災訓練

●防災行政無線の拡充

防災行政無線戸別受信機の貸与、中継局の更新などを行っています。



防災行政無線戸別受信機(写真上)
と中継局(写真下)



●交通安全施設整備及び防犯灯整備事業

交通事故防止のため、カーブミラーやガードレールなどの整備のほか、防犯灯の移設や更新整備を行っています。



更新したカーブミラー

●橋りょうなどの更新事業

自然災害から市民の暮らしを守るため、橋りょうなどの更新事業に取り組んでいます。



整備が進む(仮称)栗原東大橋

●道路整備事業

市民の生活基盤である道路の整備を行っています。



整備した市道長崎細倉線(一迫)



整備した都市計画道路一迫南線(築館)

●水道施設整備事業

水道水を安定して供給するため、古くなった水道管などを更新するほか、施設を効率的に運用するため、施設の統廃合を進めています。



建替えした築館地区薬師山1号配水池

●合併処理浄化槽整備推進事業

公共下水道事業・農業集落排水事業が計画されていない区域を対象に、申請に基づき市が浄化槽の設置と維持管理を行っています。

結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実を図り、希望する人が安心して子どもを産み育てられる環境を整備すること
 もに、将来を担う子どもたちのために、安全で質の高い教育環境を提供しています。
 また、自然を活かした地域学習を通じて、子どもたちがふるさとへの誇りを持ち、豊かな知識と感性を育む教育を
 地域全体で進めています。

2 次代を担うたくましい子どもを育成します

●少人数学級推進事業

自ら学び、自ら考える力や豊かな人間性を育むため、小学校及び義務教育学校前期課程で25人学級を行っています。

●幼稚園給食費無償化事業

子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、栗原市立幼稚園に通園する市内に住所を有する幼児を対象に、給食費無償化を行っています。また、他市町村立幼稚園や私立幼稚園、私立認定こども園等に通園する幼児についても、給食費相当分を幼稚園等に補助することで保護者負担を無償にしています。

●学校ICT推進事業

タブレット端末を使い、学習内容をより理解できる「わかる授業」を行い、「確かな学力」の育成を図っています。

●くりはら親善大使派遣事業

中学2年生等20人を姉妹都市である台湾南投市へ派遣し、現地生徒との交流を通して、国際感覚豊かな人材を育成しています。



小学校及び義務教育学校前期課程での25人学級を推進



タブレット端末を使った授業



台湾での学校交流



中学2年生等20人を台湾南投市へ派遣

1 結婚・出産・子育てが安心してできる環境を目指します

●学校給食費無償化事業

市内に住所を有する児童生徒を対象に、給食費無償化を行っています。

●幸せを運ぶこうのとりのり応援事業

不妊治療を受けている夫婦等の経済的負担を軽減するための助成事業を行っています。

●子育て応援医療費助成事業

0歳から18歳までの子育て家庭における経済的負担の軽減を図るため、入院及び通院に係る医療費のうち、保険診療分の自己負担額の全額助成を行っています。

●すこやか子育て支援金事業

出生祝金と、第3子以降の子が小学校入学時に入学祝金を支給しています。

●保育料2人目以降無料化事業

子育て世帯の負担を軽減するため、保育所等へ入所している第2子以降の保育料の無料化を行っています。

●地域子育て支援センター運営事業

地域において、子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点を設置し、子育ての不安感等の緩和や、子どもの健やかな育ちの支援を行っています。

●幼稚園預かり保育事業

幼稚園の保育時間終了後も保育を必要とする園児を対象に預かり保育を行っています。

●任意予防接種費用助成事業

乳幼児を対象としたおたふくかぜ、中学生までを対象としたインフルエンザの任意予防接種費用の全額助成を行っています。



学校給食費無償化



親子でのヨガ教室



幼稚園預かり保育



予防接種の様子

3 人とつながり、支え合い、互いに高め合う子どもを育てる環境を目指します

●スクールバス運行事業

園児及び遠距離通学となる児童生徒に対する通園・通学支援と安全確保を図るため、スクールバスを運行しています。

●学校生活支援事業

特別な支援を必要とする児童生徒をサポートする学校補助員を配置しています。

●若柳小学校校舎大規模改修事業

より良い教育環境を確保するため、大規模改修を行っています。

●学校給食センター改修等事業

安全でおいしい学校給食を安定して提供するため、設備改修や調理器具更新を行っています。



スクールバスでの送迎



校舎の大規模改修を行っている若柳小学校



改修した南部学校給食センター

2 高齢者が生きがいを持ち、互いに支え合うまちを目指します

●高齢者生きがい健康づくり事業

在宅の高齢者が生きがいを持ち、健康で生活できるよう福祉サービスを提供しています。

●地域包括ケアシステム構築事業

市内5か所に地域包括支援センターを設置し、介護・福祉・保健・医療に関する総合的な相談業務や必要なサービス調整を行っています。

●介護予防・日常生活支援総合事業

要支援認定者等に対し、身体機能の維持・改善、介護予防及び自立支援に資するため、訪問型サービスや通所型サービスを提供しています。また、住民が主体となり、介護予防の取組みを継続して実践できるよう「くりはら元気アップ体操」などの普及推進、集いの場づくりの支援を行っています。



高齢者生きがい活動通所事業



くりはら元気アップ体操



3 市民が安心して暮らせるための地域医療を守ります

●産婦人科小児科医院開設助成事業

栗原市に産婦人科及び小児科医療施設を開設しようとする医師等に対し、開設に要する経費の一部を助成しています。



市内に開設した小児科医院

●医学生・看護学生修学一時金貸付事業

栗原市立病院及び診療所に勤務する医師、看護師を確保するために、将来、栗原市立病院又は診療所に勤務しようとする医学生、看護学生に対し、修学に必要な資金の貸付を行っています。



奨学資金等貸付パンフレット

1 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

●健康診査事業

市民の健康を守り、疾病の早期発見、早期治療を推進するため、各種健康診査やがん検診等を行っています。

●いのちを守る総合対策事業

誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現に向け、相談窓口の設置や研修等を行っています。

●社会体育施設等改修事業

陸上競技場やテニスコートなどの改修を行っています。

●医療用ウィッグ・補正具購入費用助成事業

がん治療する方が、仕事や家庭生活等の社会生活を自分らしく過ごすことができるよう、医療用ウィッグ等の購入費用の負担軽減のため、一部助成を行っています。

●幼保一元化施設整備事業

栗駒・瀬峰・志波姫地区の幼稚園・保育所・子育て支援センターを一体化し、整備を行いました。



健診会場の様子



メンタルヘルス講演会



築館陸上競技場を会場とした陸上大会



整備した瀬峰幼稚園・保育所・子育て支援センター

増加する核家族世帯や高齢者世帯に対応するため、保健、医療、福祉が一体となった施策に取り組み、誰もが健康で安心して暮らせるよう、地域全体で支え合う体制の構築や地域医療を支える人材を確保・育成することで、市民が安心して暮らせる医療体制を守ります。

2 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します

●企業誘致等促進対策事業

企業誘致の促進を図るため、市内に新設・移設・増設する企業に対し助成しています。

●奨学金返還支援事業

若者の市内企業への就職や市に定着する人材を確保するため、市内の事業所に雇用され、奨学金の返還を行っている方に助成しています。

●ビジネスチャレンジサポート事業

新規開業に係る初期投資の負担を軽減するため、店舗等の賃貸料や改修・設備導入に要する経費の一部を助成しています。



平成28年に分譲開始した若柳金成インター工業団地



ビジネスチャレンジサポート事業を活用して改修した店舗



令和7年度完成予定の「ほ場整備事業(栗駒稲屋敷・鶯沢袋地区)」

1 持続可能な農林業の育成と栗原ブランドの確立に取り組みます

●農地草刈り支援事業

市内に住所を有する70歳以上の農業者が、業者等に農地の草刈り作業を委託した場合、経費の一部を助成しています。

●くりはら和牛の郷づくり支援強化事業

栗原市内で生産され、父牛が栗原産の宮城県基幹種雄牛の優秀な繁殖素牛や肥育素牛をみやぎ総合家畜市場から導入した方に補助金を交付しています。



全国和牛能力共進会宮城大会の表彰牛

●栗原の美しい森林再生事業

適切な管理が行われていなかった私有林(人工林)の森林管理を推進し、水源の保全、災害の防止、二酸化炭素の吸収など森林の持つ公益的機能の維持を図っています。



保育間伐実施後の森林

●多面的機能支払交付金事業

農業・農村が有する国土の保全や水源のかん養、自然環境の保全や良好な景観の形成などの多面的機能を維持・発揮するため、農地等の保管理に係る、共同活動に対して交付金を交付しています。



鶯沢地区に設置した有害鳥獣減容化処理施設

●有害鳥獣減容化処理施設整備事業

有害鳥獣捕獲後の処理施設として、減容化処理施設を整備し、有害鳥獣被害対策実施隊員の負担軽減を図っています。

3 地域資源を生かした広域観光戦略を構築し、栗原市を発信します

●栗駒山登山道整備・交通渋滞対策事業

栗駒山エリアでの観光誘客のため、登山道の整備や、紅葉時期の環境負荷軽減と観光客の利便性向上を目指したシャトルバスの運行などを実施し、交流人口の増加を図っています。

●まつり・イベント支援

市内各地で実施されているまつり・イベントに対し助成しています。

●栗駒山麓ジオパーク推進事業

栗駒山麓ジオパークの拠点施設となるビジターセンターの展示の充実を図っています。また、栗原の貴重な地質資源などを、子ども達へのジオパーク学習や、ガイド養成、ジオを体感できるプログラムなどに広く活用しながら、栗駒山麓ジオパーク活動を推進しています。



栗駒山でのシャトルバス運行



つきだて薬師まつり



栗駒山麓ジオパーク学習発表会



日本ジオパーク再認定(令和5年)

市民による主体的なまちづくりを目指して、自治会などが自主的に地域の課題解決に取り組めるよう支援しています。市民が生きがいを感じ、楽しみながらまちづくりに参加できる環境づくりを推進します。また、まちづくりに関わる様々な人材の育成に力を注ぎ、市民との情報共有を進め、市民の声を市政に反映させる仕組みを充実させます。さらに、市民ニーズを的確に把握し、市民満足度の向上を目指します。

2 市民が自ら行うまちづくり活動を支援します

●地域集会施設新築改築修繕事業

地域活動拠点となる集会施設の新築・改築・補修などの整備に対して補助を行っています。

●除草機械等貸出事業

市民ボランティアの除草作業において草刈機械を貸出し、作業の負担軽減を図っています。

●集落支援員設置事業

地域コミュニティ活動の活性化と地域の特色を生かした地域づくりを推進するため、集落の見回りによる課題の確認や、住民同士の話し合いなどを進める集落支援員を配置しています。



新築した集会所



貸出しを行うハンマーナイフモア



1 小さなコミュニティを大切にした地域づくりを推進します

●ご近所助け愛交付金交付事業

自治会内の班単位等で行う活動に自由に活用できる交付金を交付し、より身近な規模でのコミュニティ活動を支援しています。



ご近所で助け愛

●地域おこし協力隊事業

地域の活性化と定住・定着を目的に、都市圏・地方都市の人材を積極的に受け入れています。



活動する地域おこし協力隊

●住民自治活動推進・活動助成事業

各地区の自治会やコミュニティ推進協議会の創意工夫による自立的なコミュニティ活動を支援するため、コミュニティ組織一括交付金を交付しています。



市民体育大会



レクリエーション大会

3 市民満足度を重視した効率的な行政サービスを行います

●各種証明書等コンビニ交付サービス事業

マイナンバーカードを利用して全国のコンビニエンスストアで各種証明書を取得できるサービスを実施しています。これにより、時間や場所を問わず証明書を取得できるようになり、市民の利便性向上と行政サービスの充実を図っています。

●テレビ回覧板事業

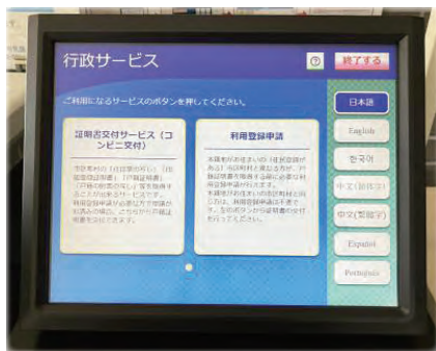
テレビのデータ放送を利用して、緊急情報やイベントのお知らせなど、市民生活に役立つ様々な情報の発信を行っています。

●公共施設への公衆無線 LAN (Wi-Fi) 整備事業

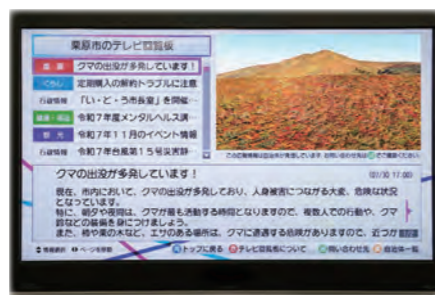
耐災害性に優れた通信手段の確保と施設利用者の利便性向上のため、公共施設へ公衆無線 LAN (Wi-Fi) のアクセスポイントの設置を進めています。

●公共施設最適化推進事業

計画的に施設の解体を進め、管理費用の削減を図るとともに、遊休市有地の処分に取り組んでいます。



各種証明書がコンビニで受け取れます



テレビのデータ放送で最新情報を得られます



公衆無線 LAN を整備した若柳公民館

20年の歩み

History

2015

平成 27 年

合併10周年 — これからも ずっと… 栗原 —

合併10周年の節目の年を迎えた栗原市。「これからも ずっと…栗原をキャッチフレーズに様々な記念事業を展開し、栗原の魅力を全国へと力強く発信しました。また、2013年に設立された推進協議会のもと、地域住民や専門家が手を取り合って育んできた「栗駒山麓ジオパーク構想」が、日本ジオパークとして認定されました。栗原の歩みと挑戦が確かな形となって刻まれた平成27年を振り返ります。



「栗駒山麓ジオパーク」が日本ジオパークに認定(9月4日)



2015栗原市民まつり(8月29日)



栗原市合併10周年記念式典(8月1日)



今できることプロジェクト事業実施協定(4月2日)



合併10周年スタート宣言(4月1日)

12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	1月													
28日(月)	13日(日)	12日(土)	23日(月)	8日(日)	15日(木)	9日(金)	26日(土)	19日(土)	11日(金)	4日(金)	29日(土)	16日(日)	8日(土)	2日(日)	1日(土)	5日(日)	7月	6月	5月	4月	1月	

- 平成27年栗原市成人式 ゲスト：岩田華怜氏(俳優)【若柳総合体育館】
- 副市長に 佐藤智氏が就任
- 小泉勝 病院事業管理者が退任
- 病院事業管理者に 鈴木元悦氏が就任
- 栗原市合併10周年 10th Anniversary KURIHARA スタート宣言
- 放課後児童クラブの対象を小学校3年生から小学校6年生に拡充
- 育児や家事の支援、育児不安の傾聴支援等を行うことも家庭支援員訪問事業を開始
- 山王あおぞら保育園、おむすび保育園(小規模保育事業所)を認可
- 市と河北新報社が「今できることプロジェクト」事業実施協定を締結
- 築館幼稚園、玉沢幼稚園、宮野幼稚園、富野幼稚園を再編した新しい「築館幼稚園」入園式
- ホッケー強豪国のオーストラリアから中・高校生のクラブチームを招き、市内中学校・高等学校のホッケー部と交流試合開催(7月13日)【築館多目的競技場・一迫多目的広場】
- 栗原市合併10周年記念公演ミュージカル「広い宇宙の中で」を公演【栗原文化会館】
- 市議会議長に 濁沼一孝氏、副議長に 佐藤悟氏が就任
- 「栗原とくたく商品券」、「栗原くらし応援商品券」、「くりはら魅力発見旅行券」発売・交付開始
- くりはら田園鉄道公園芝生広場がオープン【若柳地区】
- 栗原市合併10周年記念式典及び平成27年度栗原市表彰式【栗原文化会館】
- 記念講演「ふるさとを思う」 さだまさし氏(シンガーソングライター)【栗原文化会館】
- 栗原市合併10周年記念「栗原市民芸術祭」を開催【栗原文化会館】
- 栗原市合併10周年記念NHK「俳句王国がゆく」公開収録【若柳総合文化センター】
- くりはら想い出の歌DVDを発行
- 栗原市合併10周年記念「2015栗原市民まつり〜これからも ずっと…栗原〜」イオンスーパーセンター栗原志波姫店特設会場【栗原文化会館】
- 栗駒山麓ジオパークが日本ジオパークに認定
- 平成27年9月関東・東北豪雨により宮城県内に東北初の大雨特別警報が発表され、市内で堤防決壊などの被害が発生 死者2人、避難者698人、床上浸水86棟
- 栗原市合併10周年記念講演会「宇宙へ みんなの夢を子どもたちに」講師：阿部新助氏(日本大学理工学部航空宇宙工学科准教授)【若柳総合文化センター】
- 高円宮牌2015女子ホッケー日本リーグが市内を会場に開催(9月27日)【築館多目的競技場・一迫多目的広場】
- 第54回全日本登山体育大会宮城大会(9月11日)【栗駒山】
- 丸電プレス工業株式会社 進出決定【金成工業団地】
- 栗原市合併10周年記念「第1回栗原ハーフマラソン大会」【若柳地区栗原市ハーフマラソンコース】
- 栗原市合併10周年記念「海上自衛隊横須賀音楽隊コンサート」【栗原文化会館】
- 栗原市合併10周年記念「心にきざむ文化講演会 講師：茂木健一郎氏(脳科学者)【栗原文化会館】
- 国道4号築館バイパスが市道栗原中央線まで開通【志波姫地区】
- 第2大林農工団地(若柳金成インター工業団地)完成【若柳地区】

第1回栗原ハーフマラソン大会(11月8日)



高円宮牌2015女子ホッケー日本リーグ(9月26日~27日)



関東・東北豪雨による被害(9月11日)



くりはら田園鉄道公園芝生広場オープン(7月5日)



開所した築館幼稚園(4月10日)



20年の歩み

History

2016

平成 28 年



熊本県南阿蘇村へ支援物資を運搬するトラック
(4月18日)



新しい暮らしの便利帳を発行(9月30日)



開庁した若柳総合支所(4月11日)



栗原市・南投市国際友好交流協定締結(3月14日)

12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月	1月
29日(木)	13日(日)	1日(土)	1日(木)	1日(月)	2日(土)	1日(水)	19日(日)	1日(金)	3日(木)	10日(日)
22日(火)	16日(日)	30日(金)	5日(月)	15日(日)	19日(木)	1日(水)	15日(金)	31日(木)	10日(日)	
20日(火)	23日(水)	1日(土)	1日(木)	18日(日)	11日(月)	1日(水)	18日(日)	27日(日)	3日(木)	
11日(日)	26日(土)	16日(日)	1日(木)	11日(月)	11日(月)	1日(水)	15日(金)	25日(金)	10日(日)	
4日(日)	29日(火)	13日(日)	1日(木)	19日(日)	11日(月)	1日(水)	15日(金)	27日(日)	3日(木)	
29日(火)	26日(土)	23日(水)	1日(木)	1日(月)	11日(月)	1日(水)	15日(金)	27日(日)	3日(木)	

- ・平成28年度栗原市成人式 ゲスト：宮藤官九郎氏(脚本家)【若柳総合体育館】
- ・エヌ・エス・トート株式会社(現ナブコトート株式会社)移転決定【築館インター工業団地】
- ・台湾南投市市長を団長とする南投市政府代表団14人が栗原市に来訪し、栗原市と国際友好交流協定を締結(17日)
- ・三峰工業団地(築館インター工業団地)完成【築館地区】
- ・栗駒山麓シオパーク認定記念フォーラム【栗原文化会館】
- ・鈴木元悦病院事業管理者が退任
- ・病院事業管理者に平本哲也氏が就任
- ・くりはら想い出の歌DVDの販売開始
- ・ニチキッズ築館みやの園(小規模保育事業所)を認可
- ・栗駒幼稚園(旧栗駒幼稚園、岩ヶ崎幼稚園、尾松幼稚園、鳥矢崎幼稚園を再編)、栗駒保育所(旧栗駒岩ヶ崎保育所、中野保育所を再編)を幼保一体施設として開園・開所
- ・志波姫幼稚園(旧ふたば幼稚園)、志波姫保育所を幼保一体施設として開園・開所
- ・若柳・一迫地区の幼稚園舎を増築し、4月から全ての市立幼稚園で3年保育、給食の提供、土曜日の預かり保育を実施
- ・若柳総合支所開庁式
- ・ホッケー強豪国のオーストラリアから中・高校生のクラブチームを招き、市内中学校・高等学校のホッケー部と交流試合開催(18日)【築館多目的競技場・一迫多目的広場】
- ・平成28年熊本地震支援のため先遣隊として南阿蘇村に職員3人派遣
- ・NHK「民謡魂 ふるさとの唄」公開収録【栗原文化会館】
- ・栗原市立図書館の入館者が200万人を達成
- ・築館保育所が築館幼稚園との一体施設として開所。築館保育所には子育て支援センター及び病後児保育室を併設
- ・台湾花蓮縣消防局が参加し、平成28年度栗原市総合防災訓練を実施【サン・スポーツランド栗駒】
- ・細倉メインパークリニューアルオープン【鶯沢地区】
- ・住まいる栗原シェアリングタウン事業「きらめきの丘三峰」、「いずみの庭 佐野」宅地分譲開始【築館地区・高清水地区】
- ・北部学校給食センター開設【金成地区旧津久毛小学校跡地】
- ・第31回オリンピック競技大会(2016年リオデジャネイロオリンピック)に、築館地区出身の三橋亜記選手(女子ホッケー)、栗駒地区出身の秋山輝吉選手(射撃)が出演【ブラジル・リオデジャネイロ】
- ・2016栗原市民まつり「ぎゅぎゅつくりはら」届けます 栗原のおもてなし【イオンスーパーセンター栗原志波姫店特設会場】
- ・台風10号により大きな被害を受けた若手泉岩泉町に対し、職員延べ18人及び給水車を派遣
- ・台風10号により大きな被害を受けた若手泉岩泉町に対し、緊急消防援助隊応援出動として消防職員延べ91人を派遣
- ・栗原市消防団が平成27年関東・東北豪雨における人命の安全確保と被害の軽減貢献した功績が認められ平成28年防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞
- ・株式会社ハイレックスコーポレーションと立地協定締結【若柳成インター工業団地】
- ・市と株式会社ゼンリンとの官民共同事業で、新しい「暮らしの便利帳」を発行
- ・子育て応援医療費助成の対象を15歳から18歳に拡大
- ・交流促進のため、台湾南投市へ佐藤市長をはじめ13人の市代表団を派遣(20日)
- ・第2回栗原ハーフマラソン大会【若柳地区栗原市ハーフマラソンコース】
- ・平成28年度栗原市表彰式・防災講演会を開催【栗原文化会館】
- ・平成20年若手・宮城内陸地震に伴い実施された栗駒山系直轄砂防事業(国土交通省完成式)【花山コミュニティセンター】
- ・khh東日本放送主催の第15回みやぎふるさとCM大賞で、市の応募作品「like this」(高橋将さん制作)が銀賞を受賞
- ・「第2回輝け！おらいのまちづくり大賞」グランプリを栗駒地区の滝ノ原自治会が受賞【栗原文化会館】
- ・心にしむ文化講演会 講師：金美齡氏(評論家)【栗原文化会館】
- ・ミヤマ工業株式会社進出決定【若柳成インター工業団地】
- ・株式会社イノアックコーポレーションと立地協定を締結【築館インター工業団地】
- ・台北市体育総会陸上競技協会招待「おはよう台北ハーフマラソン大会」に選手団5名を派遣(1月1日)

子育て環境の充実 — 未来を育むまちづくり —

築館・栗駒・志波姫地区それぞれの幼稚園と保育所を幼保一体施設として整備。さらに、すべての市立幼稚園で3年保育、給食の提供、土曜日の預かり保育を開始し、子育て環境の充実を図りました。また、リオデジャネイロオリンピックが開催され、栗原市出身の三橋亜記選手がホッケー女子、秋山輝吉選手は射撃男子ラピッドファイアピストルの日本代表として活躍しました。未来を育み、感動を分かち合った平成28年を振り返ります。

台湾南投市へ市代表団派遣
(10月16日~20日)



開所した北部学校給食センター(8月1日)



細倉メインパークリニューアルオープン
(7月2日)



開所した志波姫幼稚園・志波姫保育所
(4月1日)



くりはら想い出の歌DVD販売開始(4月1日)



20年の歩み

History

2017

平成 29 年

記憶をつなぎ、備えを強化した一年 — 復興と防災の歩み —

惜しまれつつ2007年に廃線となった「くりはら田園鉄道」の施設が「くりはら田園鉄道公園」として生まれ変わり、グランドオープンしました。防災分野では、台湾花蓮縣消防局が前年に引き続き栗原市総合防災訓練に参加。さらに、石巻市・女川町との間で原子力災害時における住民の広域避難協定を締結し、災害対応力の強化を図りました。こうした震災復興、防災、観光の取り組みが高く評価され、栗原市は地方自治法施行70周年記念として総務大臣表彰を受賞しました。記憶を守り、未来へ備えた平成29年を振り返ります。



栗原市に訪された台湾南投市の皆さん
(6月7日～8日)



「瀬峰神楽」を市無形民俗文化財に指定
(5月22日)



くりでんミュージアム
完成(4月1日)



開庁した一迫総合支所(3月21日)



台湾花蓮縣と防災交流(3月14日～18日)

12月	11月	10月	9月	8月	6月	5月	4月	3月	2月	1月
29日(金)	14日(火)	13日(金)	1日(金)	26日(土)	18日(日)	1日(月)	1日(土)	14日(火)	24日(金)	8日(日)
7日(木)	12日(日)	7日(木)	7日(木)	18日(日)	22日(月)	30日(日)	21日(火)	21日(火)	31日(火)	
1日(金)	14日(土)	14日(金)	1日(金)	7日(水)	20日(土)	14日(金)	1日(土)	14日(火)		

- 平成29年栗原市成人式「ゲスト・ワッキー氏(お笑いタレント)／若新雄純氏(コンサルタント・プロデューサー)【若柳総合体育館】」
- 佐藤智副市長が退任
- 【第2次栗原市総合計画】を策定
- 台湾花蓮縣主催の防災・救助訓練に、市消防本部特別救助隊が参加(18日)【台湾花蓮縣】
- 一迫総合支所開庁式
- くりでんミュージアムが完成し、くりはら田園鉄道公園がグランドオープン【若柳地区】
- 第3子以降の児童が小学校入学する際の補助、小学校入学支援事業を開始
- 放課後児童クラブの利用を土曜日まで拡充
- 築館小学校と玉沢小学校を再編した新しい「築館小学校」開校式
- ホッケー強豪国のオーストラリアから中・高校生のクラブチームを招き、市内中学校・高等学校のホッケー部と交流試合開催(24日)【一迫多目的広場】
- 佐藤勇栗原市長が退任
- 亀井芳光教育長が退任
- 栗原市長に千葉健司氏が就任
- 市議会議長に瀬戸健治郎氏、副議長に相馬勝義氏が就任
- 築館宮野地区で大規模な火災が発生(13世帯24棟が被害のうち15棟が全焼)
- 副市長に千葉章氏が就任
- 教育長に佐藤新一氏が就任
- 「瀬峰神楽」を市無形民俗文化財に指定
- 台湾南投市政府代表团、市長をはじめ24人が栗原市を訪問(8日)
- 台湾花蓮縣消防局が参加し、平成29年度栗原市総合防災訓練を実施【サン・スポーツランド栗駒】
- 2017栗原市民まつり「ぎゅぎゅつくりはら」～届けます栗原のおもてなし～【イオンスーパーセンター栗原志波姫店特設会場】
- 1歳未満の子育て世帯を対象に赤ちゃん用品支給事業を開始
- 第11回全国和牛能力共進会宮城大会(11日)において、栗原市から6頭が入賞【夢メッセみやぎ】
- 「人の沢遺跡」が国史跡に指定【築館地区城生野】
- 平成29年度栗原市礼遇者推戴式並びに表彰式【栗原文化会館】
- 第3回栗原ハーフマラソン大会【若柳地区栗原市ハーフマラソンコース】
- 心にきざむ文化講演会 講師：鈴木明子氏(プロフィール)【栗原文化会館】
- 震災復興や防災・観光の取り組みが評価され、栗原市が地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰を受賞【東京国際フォーラム】
- khb東日本放送主催の第16回みやぎふるさとCM大賞で、市の応募作品「栗原ニュース」(高橋将さん制作)が映像賞を受賞
- 石巻市と栗原市が原子力災害時における住民の広域避難協定を締結
- 女川町と栗原市が原子力災害時における住民の広域避難協定を締結
- 台北市体育総会陸上競技協会招待「こんぱんは台北ハーフマラソン大会」に選手団6名を派遣

ゲストも迎え楽しく走るランナー(11月12日)



第11回全国和牛能力共進会宮城大会
(9月7日～11日)



台湾花蓮縣消防局も参加し防災訓練を実施
(6月18日)



オーストラリアホッケークラブ
チームと交流試合
(4月21日～24日)



20年の歩み

History

2018

平成30年

記憶を胸に、未来をつなぐ — 復興と誇りの年 —

甚大な被害をもたらした、平成20年岩手・宮城内陸地震から10年を迎える節目の年であり「追悼式」や「10年メモリアル国際シンポジウム」を開催しました。また、栗原市観光案内所のリニューアルや、栗原市栗駒特産物直売センター「山の駅くりこま」がオープンするなど、地元の観光資源やイベント情報を発信する拠点を整備しました。観光振興と地域活性化の核となる施設として、今後も、地元の魅力を発信する取り組みがさらに広がっていくことが期待される、そんな平成30年を振り返ります。



スマイル栗なび! アプリ配信 (2月1日)



山の駅くりこまオープン (4月20日)



平成20年岩手・宮城内陸地震追悼式 (6月14日)



第1回秋の栗原収穫祭in巣鴨 (10月20日)



晴天の下、マラソンを楽しむランナー (11月11日)

12月	11月	10月	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月
15日(土)	11日(日)	7日(日)	25日(土)	6日(金)	14日(木)	1日(火)	1日(日)	1日(木)	1日(木)	7日(日)

- 平成30年栗原市成人式 ゲスト・清水 宏保氏(元スピードスケート選手/木山 裕策氏(シンガーソングライター)／劇団「ホンジンプロジェクト」若柳総合体育館
- 母子健康手帳の機能を持ち子育てをサポートするスマートフォンアプリ「スマイル栗なび!」を配信
- 花山診療所が新築移転し診療を開始
- 「NHKのご自慢」公開生放送【栗原文化会館】
- 宮野小学校と築館中学校の栗原中央病院分校を閉校
- 産業経済部を農林振興部と商工観光部に再編
- マイナンバーカードを利用し住民票などのコンビニ交付サービス開始
- 瀬峰幼稚園、瀬峰保育所を幼保一体施設として開園、開所
- マリノ保育園(小規模保育事業所)を認可
- くりこま高原駅構内「栗原市観光案内所」をリニューアルオープン
- 栗原市栗駒特産物直売センター「山の駅くりこま」がオープン【栗駒地区】
- ホッケー強豪国のオーストラリアから中・高校生のクラブチームを招き、市内中学校・高等学校のホッケー部と交流試合開催(23日)【築館多目的競技場】
- 「栗原市洪水・土砂災害ハザードマップ」を全世帯に配布
- 平成20年岩手・宮城内陸地震 栗原市追悼式【栗原文化会館】
- くりはら市民大学開講式【金成庁舎】
- 平成20年岩手・宮城内陸地震10年メモリアル国際シンポジウム(7日)【この花さくや姫プラザ】
- 南投市学校交流選手団が若柳中学校及び志波姫中学校卓球部と交流親善試合(21日)【若柳中学校】
- 「第50回宮城県消防操法大会」ポンプ車操法の部において栗原市消防団金成地区団チームが準優勝【サン・スポーツランド栗駒】
- 平成30年7月豪雨支援のため広島県府中市に職員2人派遣
- 2018栗原市民まつり「ぎゅぎゅっとくりはら」THE 栗原祭「イオンスーパーセンター栗原志波姫店特設会場」
- 心にきざむ文化講演会 講師・高橋 克彦氏(浮世絵研究者・作家)【栗原文化会館】
- 第1回秋の栗原収穫祭in巣鴨を開催【東京都豊島区巣鴨地蔵通り商店街】
- 台湾南投市へ市長をはじめ市議会議員及び市内産業・経済・観光団体の代表者が産業交流訪問(24日)
- 第4回栗原ハーフマラソン大会【若柳地区栗原市ハーフマラソンコース】
- 2020年東京オリンピック強化事業としてホッケー男子日本代表チームとドイツ23歳以下代表チーム、カナダ代表チームとの3か国親善試合を開催(23日)【築館多目的競技場】
- 平成30年度栗原市表彰式【栗原文化会館】
- khb東日本放送主催の第17回みやぎふるさとCM大賞で、市の応募作品「おいでよ、くりはら」(宮東 祐貴さん制作)が映像賞を受賞
- くりでん創立100周年祭(16日)【くりはら田園鉄道公園】

くりでん創立100周年祭 (12月15日)



栗原市表彰式 (11月23日)



ホッケー男子3か国親善試合 (11月13日~23日)



栗原市観光案内所リニューアルオープン (4月1日)



20年の歩み

History

2020

令和2年



新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援制度

栗原市民まつり 開催中止

8月29日(土)の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とします。

商工観光部産業戦略課
☎(23)1220

第6回栗原ハーフマラソン大会中止

11月に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とします。

教育部社会教育課
☎(42)3514

恒例の行事も相次いで中止(8月29日、11月8日)



熱戦を繰り広げる中学球児(8月10日)



発掘された「弩」から復元した模型(東北職業能力開発大学校製作)(2月14日)



発掘された「弩」

11月	10月	8月	6月	5月	4月	3月	2月	1月
23日(月)	24日(土)	8日(土)	1日(月)	1日(金)	1日(水)	2日(月)	3日(月)	4日(土)

- ・宝島社発行の「田舎暮らしの本」2月号、「2020年版」住みたい田舎「ベストランキング」で東北第2位となる
- ・令和2年栗原市成人式 ゲスト：青空応援団/マギー審司氏(マジシャン)【若柳総合体育館】
- ・「栗原市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置
- ・国史跡伊治城跡から出土した古代の武器「弩」が県有形文化財に指定
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市内小中学校を春休みを挟んで5月20日まで臨時休校
- ・住まいる栗原シェアリングタウン事業「眺望の丘南郷」宅地分譲受付開始【志波姫地区】
- ・東京など7都府県に新型コロナウイルス等対策特別措置法による「緊急事態宣言」が発令され、その後、全都道府県に拡大(5月25日解除宣言)
- ・新型コロナウイルス感染症対応の「スローガン」として「コロナに負けねべー栗原市!!」が選定される
- ・新型コロナウイルス感染症の影響に対する「栗原市市民生活再生推進本部」及び「栗原市市民生活再生推進室」設置
- ・栗原中央病院において新型コロナウイルス感染症患者受入れ病床の運用を開始
- ・「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」特別定額給付金を支給
- ・仙台圏からの移住検討者の身近な相談窓口として「仙台くりはらオフィス」を開設(仙台フォーラス8階シェアオフィスTAGCommunity)
- ・市内小中学校の夏休みを8日から19日までの12日間に短縮
- ・第7回山崎武司杯東北中学野球選抜交流大会【栗駒野球場】
- ・2020栗原市民まつり新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- ・秋の栗原収穫祭in巣鴨2020を開催【東京都豊島区巣鴨地蔵通り商店街】
- ・第6回栗原ハーフマラソン大会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- ・栗原市合併15周年記念式典及び令和2年度栗原市表彰式【栗原文化会館】
- ・初代栗原市長佐藤勇氏を栗原市名誉市民第1号に推戴
- ・台湾南投市との姉妹都市提携調印式【オンライン】

15年の歩み、未来をつなぐ

— 共に乗り越えた栗原の絆 —

栗原市合併15周年の節目の年として、記念式典の開催や台湾「南投市」との姉妹都市提携の締結を行いました。また、仙台に交流創造拠点として「仙台くりはらオフィス」を開設しました。新型コロナウイルスが猛威を振るい、市内小中学校では長期臨時休校となり、また、各種事業の中止などを余儀なくされ社会生活が停滞しました。「コロナに負けねべー栗原市!!」を合言葉に、感染拡大防止を図りながら市民の暮らしを守る取り組みを進めた令和2年を振り返ります。

台湾南投市姉妹都市提携調印式(11月23日)



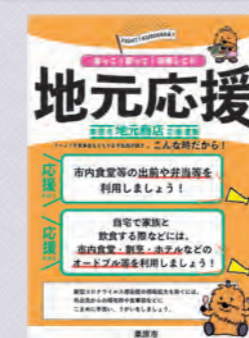
栗原市合併15周年記念式典(11月23日)



巣鴨で味わう栗原の特産品(10月24日)



交流創造拠点「仙台くりはらオフィス」(6月1日)



コロナの影響を受ける地元商店の応援

20年の歩み

History

2021

令和3年

困難の中で輝いた挑戦と学び — 未来への歩み —

新型コロナウイルス感染症対策としてワクチン接種などを進めるとともに、感染拡大の影響を受けた市民や事業者への生活支援に全力で取り組んだ一年でした。そのような中、市民が「いつでも どこでも だれでも」学べる生涯学習の拠点として新若柳公民館が開館しました。また、東京オリンピックが開催され、栗原市出身の三橋亜記選手が女子ホッケー競技日本代表として3大会連続で五輪出場を果たしました。長引く新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、夢と希望を感じられた令和3年を振り返ります。



旧高橋家住宅が国有有形文化財に登録(2月26日)



第2次栗原市総合計画 後期基本計画 (12月17日)



栗駒六日町「はばたく商店街30選」(12月22日)

12月	11月	9月	8月	7月	5月	4月	2月	1月
22日(水)	7日(日)	13日(月)	20日(金)	25日(日)	1日(土)	1日(木)	26日(金)	4日(月)
19日(日)	14日(金)	28日(土)	27日(金)	25日(火)	30日(金)	19日(火)	10日(日)	
17日(金)	23日(火)	27日(金)	18日(火)	6日(木)	5日(月)	10日(日)	19日(火)	
5日(日)	1日(水)	14日(日)	17日(月)	1日(土)	5日(月)	10日(日)	19日(火)	

- 宝島社発行の「田舎暮らしの本」2月号「2021年版 住みたい田舎」ベストランキング」で東北第1位に返り咲き、5年連続ベスト3にランクイン
- 市民生活部健康推進課内に新型コロナウイルス感染症ワクチン接種対策班を設置
- 令和3年成人式、新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的に次年度に延期
- 大塚製薬株式会社と市民の健康づくりや災害対策の推進に関する連携協定を締結
- 「旧高橋家住宅」風の沢ミュージアムの「主屋」及び「馬屋」が国登録有形文化財に登録【一迫地区片子沢】
- 市民生活部内に新型コロナウイルスワクチン接種対策室を設置
- 不育症検査費用助成事業を開始
- 乳幼児精神発達精密健康診査を開始
- 宮城県に新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が適用(5月11日まで)
- 千葉健司 栗原市長、菅原信一 副市長が退任
- 栗原市長に佐藤智氏が就任
- 市議会議長に佐藤千昭氏、副議長に高橋勝男氏が就任
- 新型コロナウイルス感染症ワクチン高齢者(75歳以上)への接種開始
- 副市長に佐藤克彦氏が就任
- 株式会社DG Technologiesと立地協定を締結
- 第32回オリンピック競技大会(東京2020オリンピック競技大会)に、築館地区出身の三橋亜記選手(女子ホッケー)が出場(7月31日)
- 宮城県に新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が適用(8月26日まで)
- 宮城県に新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発令(9月12日まで)
- 2021 栗原市民まつり 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- 宮城県に新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が適用(9月30日まで)
- くりはら田園鉄道公園くりでんミュージアム入館者5万人達成
- 第7回栗原ハーフマラン大会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- 令和3年度栗原市礼遇者推戴式並びに表彰式【栗原文化会館】
- 新若柳公民館が開館
- 東北民謡の祭典IN栗原2021【栗原文化会館】
- 「第2次栗原市総合計画後期基本計画」を策定
- 大山日出男セクステットジャズコンサート2021 in くりはら【栗原文化会館】
- 栗駒地区 六日町通り商店街が経済産業省「はばたく商店街30選」に選出

新しく開館した若柳公民館(12月1日)



くりでんミュージアム入館者5万人達成(11月7日)



20年の歩み

History

2022

令和4年

新たな息吹、戻りつつある賑わい

— 希望の一步 —

新型コロナウイルス感染症は、ワクチン接種や新しい生活様式の定着などにより、徐々に収束の兆しを見せて始めました。感染対策を講じ、規模を縮小しての開催となりましたが、3年ぶりとなる「栗原市民まつり」や「栗原ハーフマラソン大会」などには、市内外から多くの来場があり、少しずつ賑わいが戻ってきていることが感じられました。

また、中学生ホッケーの全国大会が栗原市で初めて開催され、栗原市から出場した男女それぞれのチームは、予選を勝ち進み、決勝トーナメントでも健闘しました。そんな令和4年を振り返ります。



開園した若柳認定子ども園(4月1日)



厚生労働省宮城労働局と雇用対策協定締結(8月1日)



栗駒山麓ジオパークビジターセンター来館者5万人達成(9月17日)

12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月	1月
3日(土)	7日(月)	15日(土)	11日(日)	1日(月)	1日(金)	5日(日)	27日(金)	1日(金)	16日(水)	8日(土)
23日(水)	14日(日)	17日(土)	27日(土)	2日(火)				10日(月)	20日(木)	
21日(月)	13日(日)		19日(金)							

- ・栗原市成人式(令和3年新成人)【若柳総合体育館】
- ・栗原市成人式(令和4年新成人)【若柳総合体育館】
- ・PCR検査センターをくりはら交流プラザ(エポカ2)内に開設
- ・福島県沖を震源とする地震により築館、若柳、志波姫地区で震度6弱を観測
- ・白鳥省吾記念館名誉館長に佐藤吉一氏を委嘱
- ・若柳認定子ども園(若柳よしの幼稚園、若柳川北保育所、若柳川南保育所を再編を保育所型認定子ども園として開園)
- ・市内小学校及び義務教育学校前期課程で25人編成による少人数学級を導入
- ・産後サポート事業(産後ケア事業、産婦健康診査)を開始
- ・出産・子育て応援給付金事業(伴走型相談支援)を開始
- ・「花山の千年クロベ」が県天然記念物に指定【栗駒国定公園内の花山本沢岳山】
- ・(仮称)栗原インターチェンジ道路改良工事安全祈願祭
- ・マイナンバーカード出張申請受付サービスを開始
- ・厚生労働省宮城労働局と雇用対策協定締結
- ・「第9回山崎武司杯東北中学野球選抜交流大会」開催(3日)【栗駒野球場】
- ・第52回全日本中学生ホッケー選手権大会(22日)【築館多目的競技場・一迫多目的広場】
- ・2022栗原市民まつり「きてみらいんくりはら市」【イオンスーパーセンター栗原志波姫店特設会場】
- ・仙台フィルハーモニー管弦楽団コンサートinくりはら【栗原文化会館】
- ・栗駒山麓ジオパークビジターセンター来館者5万人達成
- ・心にきざむ文化講演会 講師・舞の海秀平氏(元関取)【若柳総合文化センター】
- ・(一社)はなやまネットワーク「第9回ディスカバー農山漁村の宝」奨励賞受賞
- ・第8回栗原ハーフマラソン【若柳地区栗原市ハーフマラソンコース】
- ・第17回日本ジオパークネットワーク全国研修会in栗駒山麓開催(23日)
- ・令和4年度栗原市表彰式【若柳総合文化センター】
- ・knb東日本放送主催の第21回みやぎふるさとCM大賞で、市の応募作品「つづきは栗原市で」(佐藤暁人さん制作)が金賞を受賞

第52回全日本中学生ホッケー選手権大会(8月19日~22日)



霧の中を駆け抜けるランナー(11月13日)



はなやまネットワーク「第9回ディスカバー農山漁村の宝」奨励賞受賞(11月7日)



20年の歩み

History

2023

令和5年

活気が戻り、記憶をつなぐ

— 希望と共に歩んだ一年 —

平成20年岩手・宮城内陸地震の発生から15年の節目を迎え、震災復興祈念シンポジウムを開催し、震災の記憶を伝え、後世につないでいくことの大切さを再認識しました。

また、結婚・出産・子育てが安心してできる環境をつくるため、教育に要する費用の負担を軽減する、市立学校における学校給食費無償化事業を新たに実施しました。

長らく脅威となっていた新型コロナウイルス感染症は、国の取り扱いが5月から緩和され、市内各地で多くの行事が開催されるなど、かつての活気が戻ってきた年でもありました。そんな令和5年を振り返ります。



市内小中学校給食費無償化(4月1日)



日本RV協会包括連携に関する協定(5月22日)



花山小学校児童による太鼓の演奏(11月12日)



宮野小学校創立150周年を祝う記念創作(12月9日)

12月	11月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	1月
14日(木)	12日(日)	28日(木)	5日(土)	1日(土)	3日(土)	20日(土)	1日(土)	8日(日)
9日(土)	26日(土)	26日(土)	1日(土)	27日(火)	28日(日)	19日(金)	8日(日)	1日(土)
8日(金)	23日(木)	23日(木)	26日(土)	27日(火)	22日(月)	12日(金)	8日(日)	8日(日)
2日(土)	15日(水)	15日(水)	26日(土)	27日(火)	22日(月)	12日(金)	8日(日)	8日(日)
1日(金)	12日(日)	12日(日)	26日(土)	27日(火)	22日(月)	12日(金)	8日(日)	8日(日)
27日(月)	28日(木)	28日(木)	26日(土)	27日(火)	22日(月)	12日(金)	8日(日)	8日(日)
23日(木)	26日(土)	26日(土)	26日(土)	27日(火)	22日(月)	12日(金)	8日(日)	8日(日)
15日(水)	26日(土)	26日(土)	26日(土)	27日(火)	22日(月)	12日(金)	8日(日)	8日(日)
1日(金)	26日(土)	26日(土)	26日(土)	27日(火)	22日(月)	12日(金)	8日(日)	8日(日)

・栗原市二十歳を祝う会 ゲスト：狩野英孝氏(お笑いタレント)【若柳総合体育館】

・学校給食費無償化事業を開始

・妊産婦健康診査通院支援事業を開始

・新生児聴覚検査費用助成事業を開始

・すこやか子育て支援給付事業の第1子・第2子の出生祝金を2万円から5万円に増額

・赤ちゃん用品支給事業の1か月の支給額を3千円から5千円に増額

・地域子ども・子育て支援事業(くりっ子ドクター子育て相談事業)を開始

・幸せを運ぶごうのとり応援事業(不妊治療への助成)を開始

・栗原市奨学金返還支援事業(市内企業就職者への奨学金返還支援)を開始

・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が2類相当から5類に変更。「栗原市新型コロナウイルス感染症対策本部」を廃止

・市議会議員に高橋涉氏、副議長に濁沼一孝氏が就任

・佐藤新一 教育長が退任

・教育長に千葉睦子氏が就任

・一般社団法人日本RV協会と、包括連携に関する協定締結

・令和5年度宮城県林野火災防ぎよ訓練【一迫中央公園】

・平成20年岩手・宮城内陸地震15年震災復興祈念シンポジウム【栗原文化会館】

・新型コロナウイルス感染症の影響に対する「栗原市市民生活再生推進本部」及び「栗原市市民生活再生推進室」を廃止

・小児科や産婦人科医療施設の開設経費に対する市の助成事業を活用し、築館地区に小児科医院が開院

・大相撲時津風部屋夏合宿(8日)【みちのく伝創館】

・2023栗原市民まつり「巡り会っちゃいなよ〜くりはらで。」【イオンスーパーセンター栗原志波姫店特設会場】

・有限会社狩野農友(栗駒桜田上)の精米が宮城県代表として新嘗祭の献上米に選定

・第9回栗原ハーフマラソン大会【若柳地区栗原市ハーフマラソンコース】

・花山小学校創立150周年記念式典

・公益社団法人日本ホッケー協会から「公式ホッケータウン」として認定

・令和5年度栗原市表彰式【栗原文化会館】

・株式会社e-Mobility Powerと、栗原市内のEV及び充電インフラの普及促進に向けた連携協定締結

・新志波姫公民館が開館

・knb東日本放送主催の第22回みやぎふるさとCM大賞で、市の応募作品「#栗原(佐藤 暁人さん、千葉翔太さん、宮東祐貴さん制作)が映像賞を受賞

・高清水小学校創立150周年記念式典

・宮野小学校創立150周年記念式典

・栗駒山麓ジオパークが日本ジオパークに2度目の再認定

・栗駒山麓ジオパークが日本ジオパークに2度目の再認定



小児科医院が開院(7月1日)



コロナ禍以前に実施していた種目も復活して開催されたハーフマラソン(11月12日)



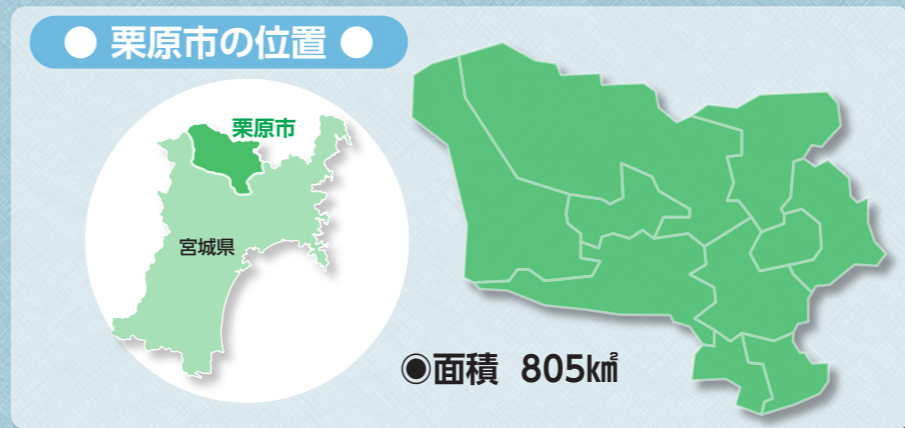
公式ホッケータウン認定(11月15日)



栗駒山麓ジオパークが日本ジオパークに再認定(12月14日)

データで見る栗原市

Kurihara Statistics

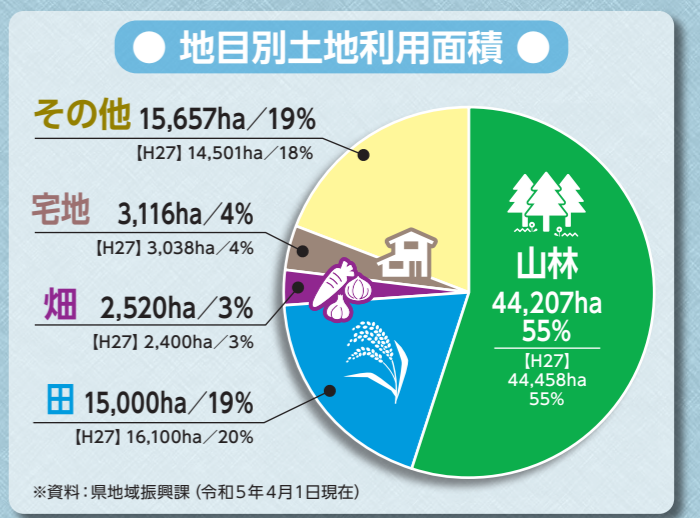
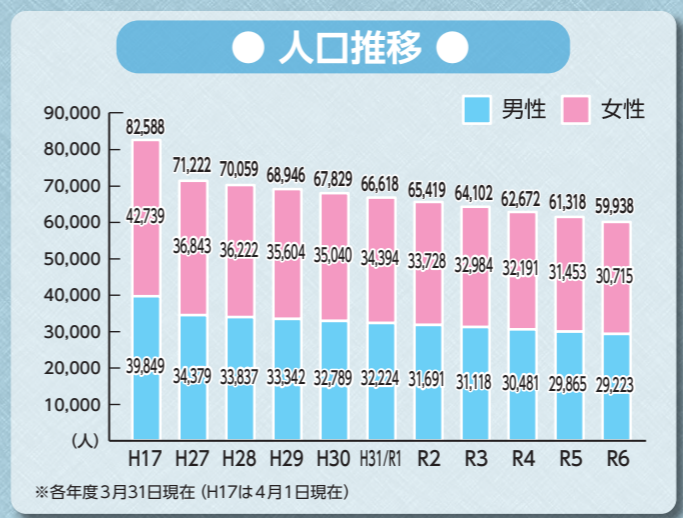


栗原の1日

※出典：統計でみる栗原 令和6年版

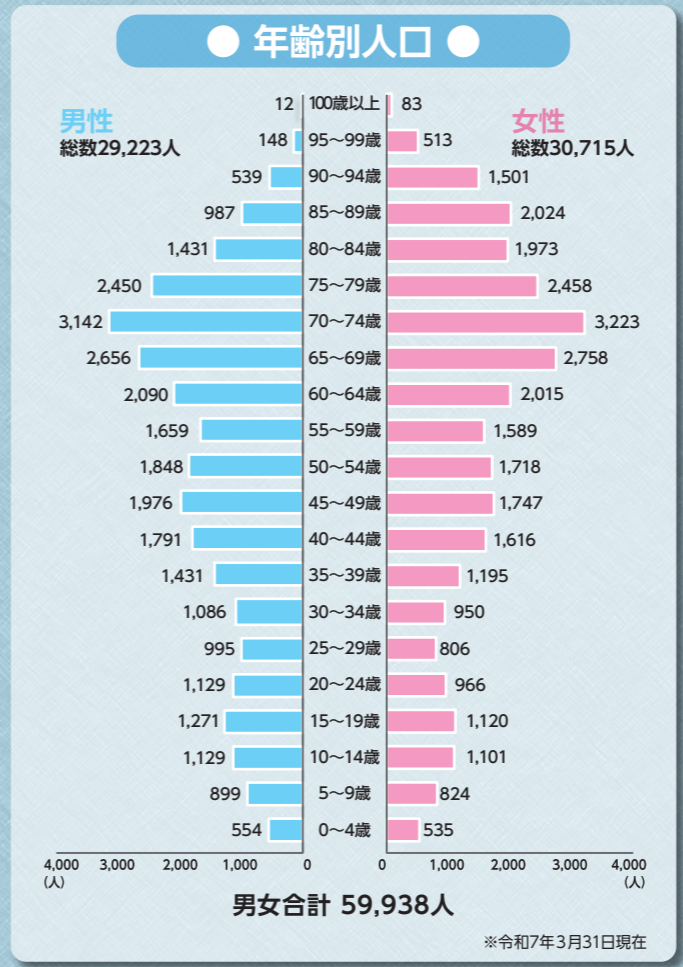
出生 0.6人	死亡 3.7人
婚姻 0.3組	離婚 0.2組
転入 3.5人	転出 4.2人
ごみの処理量 45.79t	市立病院外来患者数 569.30人
救急自動車出動件数 10.4件	交通事故件数 0.2件
火災発生件数 0.14件	火災損害額 285千円
刑法犯認知件数 0.6件	交通事故死傷者数 0.2人

※各種数値は、年間の数値を365日で除した単純平均値で、市立病院外来患者数は診察日数で除した平均値とする。
 ※婚姻件数、離婚件数について、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所が市内である者の件数である。(資料：県保健福祉総務課「人口動態統計」)
 ※交通事故件数は、人身事故と物損事故を併せた値である。



● 学校給食実施率 ● 100% (0%) [H26]100%	● 保育所年間延べ児童数 ● 7,041人 (▲4,423人) [H26]11,464人	● 市立病院の医師数 ● 41人 (4人) [H26]37人
● 道路舗装済延長 ● 1,326.8km (24.9km) [H26]1,301.9km	● 水洗化率 ● 84.0% (6.2%) [H26]77.8%	● 市内の病院数・病床数 ● 4施設 (▲1施設) 543床 (▲262床) [H26]5施設 [H26]805床
● 火災発生件数 ● 47件 (▲5件) [H26]52件	● 交通事故件数 ● 65件 (▲140件) [H26]205件	● ごみ処理量 ● 16,528t (▲1,434t) [H26]17,962t

※ () の数値は平成26年度と比較した数値 ※数値は令和6年度のもの



保育所児童数

保育所数	定員の合計	入所児童数
13施設 (▲1施設) [H27]14施設	664人 (▲256人) [H27]920人	503人 (▲371人) [H27]874人

※ () 内の数値は平成27年度と比較した数値 (令和7年4月1日現在)
 ※ 小規模保育事業所・認定こども園を含む

産業別就業者人口 (従業員総数 25,458人)

分類	従業員数(人)	割合(%)	分類	従業員数(人)	割合(%)
農業・林業	902	3.54	金融業・保険業	275	1.08
漁業	18	0.07	不動産業・物品賃貸業	237	0.93
鉱業・採石業・砂利採取業	4	0.02	学術研究・専門・技術サービス業	425	1.67
建設業	2,699	10.60	宿泊業・飲食サービス業	1,400	5.50
製造業	5,928	23.29	生活関連サービス・娯楽業	810	3.18
電気・ガス・熱供給・水道業	57	0.22	教育・学習支援業	304	1.19
情報通信業	8	0.03	医療・福祉	3,868	15.19
運輸業・郵便業	1,154	4.53	複合サービス業	1,151	4.52
卸売・小売業	4,620	18.15	サービス業	1,598	6.28

※公務を除く ※資料：令和3年経済センサス

学校数と園児・児童・生徒数

学校数	園児・児童・生徒数 (単位：人)
幼稚園	793 (▲180) [H27]973
小学校	2,022 (▲1,109) [H27]3,131
中学校	1,204 (▲523) [H27]1,727
義務教育学校	341 (341) [H27]0
高等学校	984 (▲565) [H27]1,549

※私立幼稚園含む。 ※ () 内の数値は平成27年度と比較した数値 (令和7年5月1日現在)

行政・議会の歩み

The History of Kurihara City's Administration and Assembly

行政の歩み

固定資産評価審査委員会委員長

歴順	氏名	在任期間
初代	寺川清志	平成17年5月20日～平成20年5月19日
第2代	狩野昭雄	平成20年5月20日～平成23年5月19日
第3代	佐藤昇	平成23年5月20日～平成26年5月19日
第4代	沼倉健一	平成26年5月20日～令和2年5月19日
第5代	菅原勝直	令和2年5月20日～現任中



農業委員会会長

平成17年7月19日までは、農業委員会等に関する法律第34条第1項の規定により、旧10町村の農業委員会は新市の農業委員会として存続しました。

合併後の地区農業委員会会長

地区名	氏名	在任期間
築館	佐藤龍光	平成17年4月1日～平成17年7月19日
若柳	千葉聡	平成17年4月1日～平成17年7月19日
栗駒	鈴木征夫	平成17年4月1日～平成17年7月19日
高清水	武田邦彦	平成17年4月1日～平成17年7月19日
一迫	門傳仁	平成17年4月1日～平成17年7月19日
瀬峰	佐藤健一	平成17年4月1日～平成17年7月19日
鷺沢	高橋次男	平成17年4月1日～平成17年7月19日
金成	菅原博	平成17年4月1日～平成17年7月19日
志波姫	石川秋男	平成17年4月1日～平成17年7月19日
花山	千葉幸雄	平成17年4月1日～平成17年7月19日

市農業委員会会長

歴順	氏名	在任期間
初代	千葉幸雄	平成17年7月24日～平成20年7月23日
第2代	門傳仁	平成20年7月24日～平成26年7月23日
第3代	鈴木康則	平成26年7月24日～令和4年8月16日
第4代	吉田優俊	令和4年8月29日～現任中



市長



市長
佐藤 智
在任期間
令和3年5月1日～

歴順	氏名	在任期間
職務執行者	佐藤 覚次郎	平成17年4月1日～平成17年4月30日
初代	佐藤 勇	平成17年5月1日～平成29年4月30日
第2代	千葉 健司	平成29年5月1日～令和3年4月30日
第3代	佐藤 智	令和3年5月1日～現任中

副市長



副市長
三塚 満
在任期間
令和7年5月18日～

歴順	氏名	在任期間
初代	柳川輝久	平成17年5月18日～平成22年12月31日
第2代	高橋正明	平成23年1月1日～平成26年12月31日
第3代	佐藤智	平成27年1月16日～平成29年1月31日
第4代	千葉章	平成29年5月18日～平成31年3月31日
第5代	菅原信二	平成31年4月1日～令和3年4月30日
第6代	佐藤克彦	令和3年5月18日～令和7年5月17日
第7代	三塚満	令和7年5月18日～現任中

※法改正により、平成19年4月1日付で「助役」を「副市長」に改称



行政の歩み

議会の歩み

議長・副議長



議長
尾形 勝通
在任期間
令和7年5月8日～



副議長
菅原 勇喜
在任期間
令和7年5月8日～

歴順	議長氏名	副議長氏名	在任期間
初代	佐々木 幸一	佐藤 勇	平成17年5月13日～平成19年6月12日
第2代	高橋 義雄	寺館 重義	平成19年6月12日～平成21年4月30日
第3代	加藤 雄八郎	小岩 孝一	平成21年5月1日～平成22年2月19日
第4代	小岩 孝一	瀬戸 健治郎	平成22年2月19日～平成23年6月16日
第5代	佐藤 千昭	佐藤 久義	平成23年6月16日～平成25年4月30日
第6代	石川 正運	五十嵐 勇	平成25年5月1日～平成27年6月9日
第7代	濁沼 一孝	佐藤 悟	平成27年6月9日～平成29年4月30日
第8代	瀬戸 健治郎	相馬 勝義	平成29年5月2日～令和元年6月11日
第9代	佐藤 久義	阿部 貞光	令和元年6月11日～令和3年4月30日
第10代	佐藤 千昭	高橋 勝男	令和3年5月6日～令和5年5月12日
第11代	高橋 涉	濁沼 一孝	令和5年5月12日～令和7年4月30日
第12代	尾形 勝通	菅原 勇喜	令和7年5月8日～現任中



教育長

歴順	氏名	在任期間
暫定	久我 竹五郎	平成17年4月1日～平成17年5月19日
初代	佐藤 光平	平成17年5月20日～平成21年5月19日
第2代	亀井 芳光	平成21年5月20日～平成29年4月30日
第3代	佐藤 新一	平成29年5月20日～令和5年5月19日
第4代	千葉 睦子	令和5年5月20日～現任中



教育長
千葉 睦子
在任期間
令和5年5月20日～

収入役

歴順	氏名	在任期間
初代	二階堂 憲夫	平成17年5月18日～平成21年5月17日

※法改正により、平成21年5月17日付で収入役の役職を廃止

代表監査委員

歴順	氏名	在任期間
初代	藤原 賢	平成17年5月19日～平成21年5月18日
第2代	鈴木 良喜	平成21年5月19日～平成25年5月18日
第3代	田崎 次男	平成25年5月19日～平成29年5月18日
第4代	鈴木 弘	平成29年5月19日～令和3年5月18日
第5代	武田 孝一	令和3年5月19日～令和7年5月18日
第6代	藤野 修一	令和7年5月19日～現任中

病院事業管理者

歴順	氏名	在任期間
初代	小泉 勝	平成20年4月1日～平成27年1月31日
第2代	鈴木 元悦	平成27年4月1日～平成28年3月31日
第3代	平本 哲也	平成28年4月1日～現任中



病院事業管理者
平本 哲也
在任期間
平成28年4月1日～

教育委員会委員長

歴順	氏名	在任期間
暫定	佐藤 光平	平成17年4月1日～平成17年5月19日
初代	久我 竹五郎	平成17年5月20日～平成21年5月19日
第2代	後藤 邦正	平成21年5月20日～平成25年5月19日
第3代	佐々木 一彦	平成25年5月20日～平成29年5月19日

※法改正により、平成29年5月19日付で委員長の役職を廃止

選挙管理委員会委員長

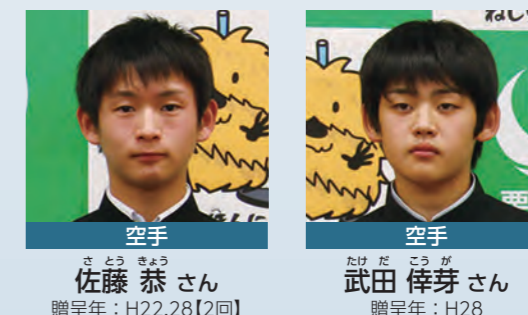
歴順	氏名	在任期間
暫定	長谷川 翼	平成17年4月1日～平成17年5月19日
初代	長谷川 翼	平成17年5月20日～平成30年1月31日
第2代	沼倉 秋良	平成30年2月1日～令和3年5月19日
第3代	小林 吉雄	令和3年5月20日～現任中

栄誉の楯

栄誉の楯は、文化、芸術、スポーツなどの分野において、世界規模の大会に出場し、活躍され、広く市民に希望と勇気を与えた、市と関係の深い個人や団体に對して贈られます。



※平成27年6月1日から令和7年11月30日までに贈呈し、「広報くりはら」に掲載した方々をご紹介します。



輝く日本一くりはら大賞は、市民が各分野において、日本一またはそれに準じる成績を収め、広く市民に希望と勇気を与えた個人や団体に對して贈られます。

輝く日本一くりはら大賞